

区民生活
無視して

再開発・ためこみ優先の 税金のつかい方

このまま
続けていいので
しょうか

目黒区にはお金がないのではありません。
区政にないのは「福祉の心」です。

JR跡地開発

障害者・高齢者などの福祉住宅建設を目的に32億円で購入した区民の土地を、50年以上もタダ同然で大企業に貸し、開発に提供しようとしています。

大橋再開発

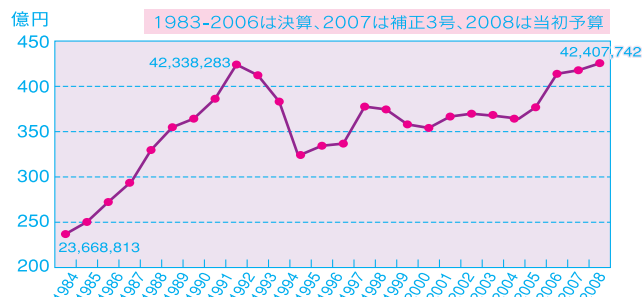
超高層ビルの高さを半分に下げると4千名の署名が寄せられたにもかかわらず、これを無視して都の再開発計画を容認。周辺整備には区が多額の経費を負担しなくてはなりません。

上目黒1丁目再開発

開発で建設されるのは豪華分譲マンションや高額な賃貸住宅。その整備に総額77億円もの補助金を出しています。



目黒区はずっと黒字、税収は史上最高



一方で、上目黒再開発に77億円
ためこみに4年間で141億円

「財政難」を理由に 福祉・教育バツサリ

- 敬老記念品削減 1,367万円
- 心身障害者福祉手当の減額 4,789万円
- 生業資金貸付の廃止 2,500万円
- ひとりぐらし高齢者電話代補助廃止 3,040万円
- 就学援助の対象縮小 918万円
- 生活保護世帯への見舞金の廃止 2,625万円
- 生活支援ヘルパー派遣の削減 1,034万円

特別養護老人ホームでは… クルクル変わる食事介助者 寝巻きに着替えさせる手もなし

運営費を3年間で5億円も削減。そのほとんどが人件費。現場では職員の半分近くが一年契約や非常勤・アルバイトに。職員の入れ替わりが激しい、経験のない職員が増えた、慢性的な人手不足…。その結果、食事介助は毎回違う人、寝巻きに着替えさせる手がないと夜も昼の洋服のまま。



医療・介護・年金などの改悪と庶民増税で区民のくらしは深刻です。目黒区の区税収入は、庶民増税で二十七億円の増収と史上最高になっているのに、区は、国民健康保険料は値上げ、生活保護世帯のわずかな見舞金まで廃止するなど、くらしに追い討ちをかけています。自民・公明・民主・社民などオール与党に支えられている青木区政は、これまでの四年間にも「財政難だ」と、毎年福祉を切り捨ててきました。

庶民増税で27億円も増収
なのに
国保料は値上げ
生活保護世帯の見舞金廃止
生活支援ヘルパー派遣の削減

日本共産党

目黒区議団ニュース 2008年3・4月号

発行 日本共産党目黒区議団

目黒区上目黒2-19-15 目黒区役所5階
TEL 03-3715-1111 (内線3030)
FAX 03-5722-9344
ホームページ <http://www.jcpmkd.jp/>

ご意見をお寄せ
ください

再開発・
ためこみ

優先からくらし応援の頼れる区政に

みなさんと力をあわせ 実現しました

2008年度予算案に盛り込まれた施策

- 妊婦健診の無料化 2回から14回に
- 小学校特別教室の冷房化
- 障害者施設利用料の負担軽減の継続
- 老朽化した東山小学校の改築
- 高次脳機能障害者支援の促進
- 祐天寺保育園の改築
- 私立幼稚園入園料補助 5万円から6万円に
- 大岡山学童保育クラブの建設

日本共産党目黒区議団

無料 法律・生活相談 困った時はいつでもどうぞ

- 毎月第1・第3木曜日午後2時～3時半
- 区役所5階日本共産党控室 ☎(3715)1111 (内)3030



区議会議員
星見てい子
〒152-0033
大岡山1-19-6A
☎(03)7601-4531



区議会議員
岩崎ふみひろ
〒152-0002
目黒区目黒本町6-3-1-303
☎(3713)6800



区議会議員
石川 恭子
〒153-10052
目黒区祐天寺2-19-15
☎(3711)9735



区議会議員
森 美彦
〒153-10042
目黒区青葉台3-8-8
☎(3464)4704



区議会議員
沢井 正代
〒152-10023
目黒区八雲4-7-15
☎(3755)1691

●●● みなさんのご意見ご要望をぜひお寄せください。 ●●●

- 幼稚園・保育園の保育料を値下げします。
- 保育園の民営化計画を中止し、ゆきとごい保育をすすめます。

- 教育費の保護者負担の軽減、少人数学級の実現で、一人ひとりが大切にされる教育を進めます。

子育て支援の充実

- 高齢者・障害者福祉住宅を増設します。

高齢者・障害者が住みつづけられるまち

- 国保料の値上げに反対します。保険料の値下げで命と健康を守ります。
- 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求め、医療費補助などの実現で医療を受ける権利を守ります。
- デイサービス、ショートステイの充実、区独自のホームヘルパーの派遣で老後の不安を取り除きます。



医療・介護の充実

- 区長を本部長に「くらし支援対策本部」を設置し、増税・社会保障制度の改悪・物価高からくらしを支える施策を全庁的にとり組みます。
- アパート・店舗の更新料、子どもの進学、入院などの急な物入りに役立つ緊急かけこみ融資制度をつくり、サラ金地獄への道を断ちます。
- 労働者の賃金・権利を保障する「公契約条例」を制定します。

くらし支える緊急対策

自治体の第一の仕事は「住民福祉の向上」です。区民のみなさんが求める区政は、くらしを応援する頼れる区政ではないでしょうか。「福祉の心」で貧困克服、高齢者・障害者・子育てを温かく支える区政の実現に力をあわせましょう。

後期高齢者医療制度は中止・撤回を

後期高齢者医療制度（4月実施予定）は、75歳以上の高齢者を対象に現在加入している保険から追い出し、別立ての保険に入れてしまおうというものです。高い保険料が年金から天引きされ、受けられる医療は月6千円（患者負担は1-3割）、一医療機関のみ、定額（包括制）で必要な検査も医療も受けられなくなります。高齢者を差別するこんなひどい医療制度は認められません。中止・撤回を求める声を大きく広げましょう。



「福祉の心」をとり戻し、 誰もが住みつづけられる目黒に